

『教養数学』（中学生）

定員 5名 お早めに！



数学を「読む」クラスです。

数学を「読む」クラスです。本を通して、数学の世界をより広く感じてもらえれば幸いです。

これまでに扱ったテキスト

- ・『数学ガールの秘密のノート』シリーズ（結城浩、SBCreative）
- ・『14歳からの数学』（佐治博士著／春秋社）
- ・『無限論の教室』（野矢茂樹、講談社現代新書） など

『歴史』（中学生）

定員 5名 お早めに！



金曜日 20:10~21:30 予定 講師：吉川弘晃

テキスト：『武士の日本史』（高橋昌明 著 / 岩波新書）を読み進めています。（2021年2月現在、第4章のあたり。）2021年度はどんなテキストを読んでもいのでしょうか？どうぞ楽しみに！

「日本では小学生から日本の歴史（社会）を学びますが、歴史とはどの科目にもまして不思議と楽しさにあふれる学びです。なぜなら、過去に起きた人間が関わるあらゆるものを物語の形にして自由に考えられるからです。しかし、「自由」といっても、一つだけ重要なルールがあります。それは、物語の一つひとつに証拠を示して相手に理解してもらうことです。クラスでは、日本の歴史を理解するうえで基本的な道具を、国語や算数、理科の知識を引っ張りながら（歴史は知の総合闘技です）、楽しんで身に付けていきます。」

（※このクラスは、当時小学3年の生徒さんの希望により開講し、現在に至ります）



- 韓国語は高校生から、ドイツ語は中高生からも受講可能です。

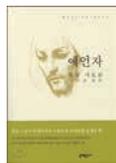
韓国語初級 テキスト：『文法がしっかりわかる韓国語』（池田書店）（予定）

韓国語が全く初めての方、ちょっと習ったことのある方が対象です。文字を覚えることから始め、韓国語の仕組みを理解し、基礎的な文法を身につけることで、簡単な韓国語を無理なく読み、話せるようになることを目標にします。



韓国語講読 A テキスト：金承鉦 『霧津紀行』

韓国語の美しさを極大化した本作品は、韓国語の学習だけではなく、1960年代の韓国社会の雰囲気味わう上でも、一読の価値がある作品です。



韓国語講読 B テキスト：カリール・ジブラン、姜恩喬 『預言者』

韓国語訳の文章は簡潔で平易ですが、そこに含まれている意味を吟味しながらじっくり読んでいきます。

ドイツ語初級 / 講読

初級では、基礎的な文法や語彙を訓練することで、辞書があれば簡単なドイツ語の文章を読めるようになることを目指します。講読では、ドイツ語

で書かれた様々な文章を読みながら中級文法や語彙を学ぶと共に、ドイツ語圏文化の豊かさに触れていきます。テキストはカール・ラートゲン『日本人の国家と文化』他、小説・翻訳・エッセイなど応相談



2021年度 開講クラス

幼稚園から大人まで「ひとつながり」の、
本当に大切な学びを求めて。

〒606-8273 京都市左京区北白川山ノ町41

■ 各種お申込み・お問い合わせは、
ホームページ「お問い合わせ」またはこちらへ。
TEL: 075-781-3215 (13:30~21:30 留守録可能)

山の学校 検索

中学・高校生 クラス

いずれのクラスもオンラインでの
受講をご希望の方はご相談下さい。



- ・ 西洋の児童文学を読む
- ・ 歴史
- ・ 中学英語
- ・ 高校英語
- ・ 西洋古典を読む
- ・ 英語で学ぶ歴史と文化
- ・ 中学数学
- ・ 高校数学
- ・ 東洋古典を読む
- ・ 教養数学
- ・ ドイツ語
- ・ 韓国語

知的好奇心を解き放ち、自由な冒険の旅に、一緒にでかけよう。

世界はきっと、限りなく広い。

一つの本を、精読し、最後まで読み切る。

先生と仲間たち、本との対話を通し、考えを深めるほどに、

新たな発見、次なる疑問が待ち受けており、

世界はまた、広がっていく。

そうして「自ら」育んだ知識は、きみのものだ！

ただの借り物ではない、きみだけの、誇れる宝になる。

その輝きは、日々の勉強をも照らし、この先10年、20年…

生涯に渡って心の輝きとなることでしょう。

まずは「基本」から。
そしていつでも
基本に立ち返ろう。

各 定員 5名 お早めに！

『中学数学』1・2・3

講師：浅野望、入角晃太郎、他

学校で今習っていることを確実に習得してもらうことを第一にしています。そして必ずしも学校では習わないような、頭を使う問題などに取り組んでもらうこともあります。高校入試を受ける人には入試の攻略法も伝授します。

「わかった『つもり』な気がする」

「今さら人に聞けない」

なんていうことを積もらせると後々大変です。そんな気がする人も、急がば回れ。基本をじっくり丁寧に学べば大丈夫です。

数学も英語もそれぞれ、学年や生徒さんの理解度に合わせて最適なクラスをご用意致します。勿論、早歩きしたい人のガイドも。

ゆっくり進むもよし、ぐんぐん進むもよし。立ち止まったり、寄り道したり。学びは「楽しい山登り」のようであっては。そう思っている山の学校の先生たちに、

気兼ねなく、
何でも訊ねて
下さいね！



新中1(小6)対象 『中1プレ英語』(1~2月)

『中学英語』1・2・3

講師：坂本晃平、浅野望、他

中学1年生から中学3年生まで、各人の状況に合わせた取り組みをしています。全体に共通して言えることとしては、中学校の定期テストでは教科書を覚えるほど読み込むことが大事だということを意識しています。あとは意欲や関心に応じて基礎英語やネイティブ教材などを用いています。(過去の例「イソップ寓話集」や、ディケンズ『二都物語』など)

『高校数学』1・2・3

講師：入角晃太郎、浅野直樹、他

段々と複雑になってくる高校数学の内容を一つずつ進んでいきます。ごまかすことなく自分のわからないところはわからないとはっきりさせて、わかるところを増やしていきます。わからない、できないからといって怒られることは一切ありませんので、安心してご参加ください。

『高校英語』1・2・3

講師：坂本晃平、浅野直樹、他

基本的には高校での学習進度に合わせて単語や文法事項の習得に励んでいます。少人数クラスですので、各学校にびつたりと密着した内容を行うことができます。このように学校での学習を活用しつつ、必要に応じて範囲外の事柄も紹介して、総合的な英語の力を磨いています。

「楽しむ」ことが、勉強の「基本中の基本！」
 深めるからこそ、楽しみ。
 苦手を好きに。好きをもっと好きに！

読書と対話を中心とした学びのラインナップです。
 学校では色々な教科を一度に沢山学びますが、ひとつひとつのことをじっくり深める機会が少ないとも言えます。そのことが、かえって勉強をつまらなく、よくわからないものになってしまうことがあります。読解力・考える力を鍛え、「教科書の向こう側」にあるものごとまで深く追求しだすと「楽しさの深み」にハマり、大きな「自信」が生まれます。そのことが、他の教科にまで好影響を及ぼしていく姿が、山の学校ではよく見かけられます。

『西洋の児童文学を読む』（中学生）

定員 5名 お早めに！

一人では読み飛ばしがちでも、仲間と音読しあって補います。また、要約を書いて理解を深めます。一つの作品を繰り返し読むこと、精読が人生のよりよい友となることを応援します。

2021年2月現在、Bクラスでは、エンデ『モモ』を読んでいます。



B（金曜日）クラス 18：40～20：00

講師：福西亮馬



次のテキストは、『トムは真夜中の庭で』（ピアス、高杉一郎訳、岩波少年文庫）です。トムは、弟のはしかのせいでおじさんの家に隔離されます。遊び相手がなくて退屈で仕方ありません。真夜中、古時計の十三回目の音を耳にします。起き出し、勝手口を開けると、見慣れない

古風な中庭を目にします。そこでハティという少女と出会います。

トムはハティの様子を何度も見にゆき、最後には「二人で会う時間を永遠にしよう」と決意します。「もう時がない」という黙示録の天使のフレーズに思わず切なくなる、「時間」をテーマにした児童文学の名作です。お楽しみに。

C（木曜日）クラス 18：40～20：00 講師：福西亮馬

定員 5名 お早めに！

大人も受講可能！

テキスト：『クローディアの秘密』（カニグスバーク、松永ふみ子訳、岩波少年文庫）

十二歳のクローディアは是非でも秘密を持ちたくて、家出——ただし快適な——を決意します。そこで家出先を選んだのが夜のメトロポリタン美術館でした。それだけでも面白い展開ですが、彼女は美術館の天使像について、真実の秘密に触れます。

「秘密が内側から人を支える」という作品のメッセージは、十代の読者にきつと響くだろうと思います。またクローディアが出会った老婆の言葉で、幸福とは「わきたつ感情が心の中に落ちつき場所を見つけること」だとあります。一体どういうことなのかを深く考えさせられる作品です。お楽しみに。



大人も受講可能！

『西洋古典を読む』（中学生）

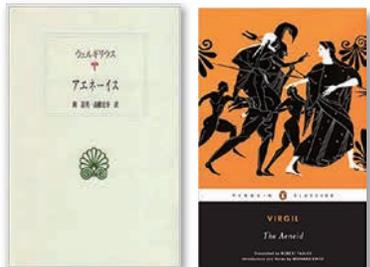
定員 5名 お早めに！

水曜日 18：40～20：00 講師：福西亮馬

古典は、付き合う時間が長ければ長いほど、読者にその価値をもたらしてくれます。古典がクラシック（第一席）と呼ばれるゆえんを、ぜひ多感な時期から体験してください。

2021年2月現在、ウェルギリウス『アエネーイス』（岡道男・高橋宏幸訳、西洋古典叢書）を読んでいます。現在、第6巻です。

また、第6巻の途中から、英文訳を日本語に訳すことに挑戦しています。『The Aeneid』（Robert Fagles 訳、Penguin Classics、ペーパーバック 2010）を使っています。ペースは20行ほどです。

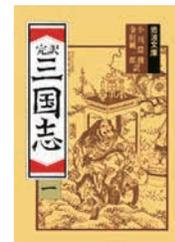


定員 5名 お早めに！

『東洋古典を読む』（中高生）

大人も受講可能！

木曜日 18：40～20：00 予定 講師：齊藤 賢 テキスト：『三国演義』（今年度はオンライン授業となります。）



本講座では、前任の方を引き継ぎ、『三国演義』を受講生のかたと一緒に読んでいきます。

『三国演義』は『水滸伝』『西遊記』『金瓶梅』と並んで中国四大小説の一つに数えられ、中国のみならず、日本をはじめアジア各国で長らく愛読され、正に「東洋古典」の名に相応しい書物と言えましょう。義を重んじ、衰滅しつつある漢室の再興を目指した劉備、冷徹な現実主義と鋭い戦略眼をもち、最強国魏を建てた曹操、その背後で虎視眈々と機を窺う孫権、そして彼らを支えた数多の武将や策士たち、彼らの生き方や信念は千差万別ですが、どれもみな読者を惹きつけてやみません。

授業では主に『三国演義』を読み進めていきますが、合間に正史『三国志』などを参照しながら、『演義』と史実ではどの部分が同じでどの部分が異なるのか、そしてその理由はどうしてなのか、を考えていくことができると考えています。というのも、『三国演義』は史実としての三国時代を核としつつ、長い歴史を経て明代に成立した小説であり、史実と『演義』の差異からは、中国の読者である知識人の思惟や民衆の期待・希望などが読み取れるのではないかと考えるからです。東洋古典たる『三国演義』から能動的になにかを汲み取ろうとすることで得られる成果は決して小さなものではないでしょう。

テキストは岩波文庫版の小川環樹・金田純一郎訳『三国演義』を用いますので、正確な訳が期待できるとともに、日本語としても洗練された文章を味わうことができるでしょう。テキストのどの箇所を読むかについては、受講生の方のご関心に沿って決定します。冒頭から読みはじめるのもよし、名場面を重点的に読むのもよし、と考えております。

なお、本講座ではZoomを利用して実施いたしますので、遠くにお住いのかたでもご参加いただけるようになっております。

英語で学ぶ歴史と文化（中3～高校生）

大人も受講可能！

テキスト：A History of Britain (Penguin Readers)

木曜日 18：40～20：00 講師：吉川弘晃

学年、難易度に応じたテキストのバージョンをご用意しております。

定員 5名

お早めに！

英語でアウトプットする（話す・書く）力が叫ばれて久しいですが、仕事であれ勉強であれ、多くの人にとって、外国語と接する時間のほとんどはインプットすることに費やされます。つまり、何よりもまず相手が訴えていることを文字通りに「読む力」が必要となります。また、海外の人と意思疎通を行うには、私たちと彼らの抱える文化的背景の違いをよく知っておく必要があります。

この授業では、英語を読む力、そして日本と海外の歴史と文化の違いを踏まえるための基本の両方を、簡単な文章で書かれた英語の本を読むことで鍛えていきます。対象は中学3年最初までのレベルの英文法と語彙力（1000語程度）を備えている方です。

教科書としては、Penguin ReadersのA History of Britainを使おうと思います。ちっぽけな島国から七つの海を制覇したイギリスの歴史を学ぶのは、世界史（さらにその中の日本史）を学ぶ第一歩になるでしょう。受講者の希望によっては、Penguin Readersシリーズのその他のテキストを使うことも考えているので、気軽にご相談ください。

